



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE

T O S Y ' S

東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日
チャーター認証日 1989年5月 2日
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE
2-18-12,NISHIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後7：00
(但し、12月・5月は山中湖センターで土日)
第二例会：翌週土曜日 午後4：00

2013年12月号ブリテン 第283号

2012-2013年度主題(Theme)

IBC：台北ユニオン DBC：東広島・京都プリンス

To acknowledge the duty that accompanies every right
強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う
「全ての世界に出て行こう」 (デンマーク)
「未来を始めよう、今すぐに」 (西日本区)
「いざ立て」 (十勝クラブ)
「心をついに あずさ号前進」 (東京たんぽぽ)
「目覚めよう！ 立ち上がろう！ 歩きだそう！」

会長 小山 憲彦
副会長 大谷 博愛
書記 小山 久恵
会計 柴田 弘子
直前会長 荻 光彦
担当主事 岡 田 ナスカ

Our Motto 国際標語
国際会長 Poul V. Thomsen
アジア会長 岡野 泰和
東日本区理事 渡辺 喜代美
あずさ部部長 藤江 喜美子
サンライズ会長 小山 憲彦

12月第一例会のお知らせ

とき 12月7日(土)～8日(日)
ところ 東京YMCA 山中湖センター

◆プログラム

13：30～ 地域の子供たちのためのクリスマス
◇ミニ人形劇によるページェント
◇サンライズビンゴ
17：00～ 富士五湖クラブとの合同例会
開会点鐘 小山会長
ワイズソング・ワイズの信条 一同
卓話「防疫の話」 甲府21クラブ 葉袋 勝さん
協議・報告・連絡事項 会長・各担当
にこにこ・一分間スピーチ 出席者全員
閉会点鐘 須藤会長
19：00～ 合同クリスマス祝会・懇親会

12月以降の予告

12月23日(月) 第二(お散歩)例会 旗の台 12：00～
サンライズ忘年会 グラディス 17：30～
1月16日(土) 在京ワイズ合同新年会/東陽町 13：00～
第一例会 合同新年会に合流して開催します
1月25日(土) 第二例会 グラディス 16：00～
2月 1日(土) 第二回あずさ部評議会/甲府 時間未定
2月13日(木) 第一例会 山手センター 19：00～
2月22日(土) 第二例会 グラディス 16：00～

11月第一例会報告

荻光彦

11月14日(木) 19時、東京サンライズクラブ11月の第一例会は東京山手コミュニティセンター101号室で行われました。参加の方々がほぼ集まったところで、5分遅れで小山会長の開会点鐘で始まり、ワイズソング、ワイズの信条につづき、会長からゲストスピーカーの日産自動車の宮岡 浩さんをはじめ、参加の方達の紹介がありました。

会長より「京都プリンスと東広島のDBC例会でいただいたお菓子を皆さんのテーブルにお配りした。」という報告があって、続いて宮岡さんの「乾電池の話」の卓話が始まりました。宮岡さんは日産自動車の生産技術系技術開発に所属、「燃料電池」の開発をされており、今後ガソリンに変わるエネルギーとして開発途上にある燃料電池に関してパワーポイントを

【次頁へ続く】



【卓話者の宮岡さん】

12月のハッピーバースデー

6日 御園生 好子 さん
8日 岡田 ナスカ さん
19日 内迫 裕 さん

ワイズの信条

自分を愛するように隣人を愛そう
青少年のためにYMCAに尽くそう
世界的視野を持って国際親善を計ろう
義務を果たしてこそ権利が生ずることを悟ろう
会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

11月例会出席者

在籍 15名
メン (Make up 1名) 11名
メネット・コメット 1名
ゲスト・ビジター 4名
出席率 73%

利用されて燃料電池はどういうものか、それを使った燃料電池自動車(FCV)をなぜこれから始めようとしているのかをお話になりました。

まず将来の自動車の方向性として、やがて開発途上国などで移動手段として自動車が使われることが増えることにより、自動車の生産も増え続けてゆき、それに伴うエネルギー問題や温暖化問題を考慮しながら、一方では自動車の知能化と電動化が車業界に求められております。知能化とは“他社の作る、ぶつからない車”の様に車が人の手を介さないで動く方向性で有り、電動化とは、再生可能エネルギーと電動化のシフトのことであり、今までは化石燃料、バイオ燃料で車をうごかしてきましたが、太陽エネルギーや風力エネルギーなどから、いまずぐ電気として使えるようにして自動車を動かすことです。BEV(バッテリーEV)と呼び、バッテリーを積んで充電して走らせる車のことを言います。これに対して燃料電池自動車FCVは基本的には電気自動車と似たような存在になりますが、その先を行くものであります。ジェミニ5号やアポロ計画で使われて、60年代にGMが車に搭載されたことはありましたが、いまだに市販の車として実用化されていません。つづいて、スライド写真により燃料電池車において燃料電池スタックがエンジンやガソリンタンクに取って代わり、インバーターやモーターは電気自動車と同じで、水素の燃料タンクを搭載し、その燃料電池スタックの内部にある400枚のセルと呼ばれる0.1ミリのステンレス板から電気を発生させて車を走らせるという、原理の説明がありました。このセルに水素と酸素を加えることで電気が発生することなので、いわゆる電池ではなく発電機であるとのこと。充電も使い棄ても出来ません。このセルの上に酸素と水素を通す通路のために貴金属系のプラチナを塗布して膜を作るというミクロの世界の作業が行われているそうです。カーボンを利用して水を弾いたりするセルの5層構造を断面図で紹介されました。水の電気分解のように、水素と酸素を反応させて、電気と水に分解させる原理は触媒の働きによるという点を強調されました。水素を圧縮して車に積み込むタンクの安全基準は厳しく、製造も難しく、アルミにカーボンファイバーを巻いて焼いて固めた製品であるとのこと。電気自動車と比べてFCVのメリットは長い距離を走れるという航続距離とシステムコストにおいて顕著に見ることができます。現在、デスバレーでの耐熱テストや北海道やロシアでマイナス30度における耐久耐寒テストが行われていたり、搭載する燃料電池スタックの小型化を目指し居住空間の向上を図るとともにコスト低減をめざして開発中です。



【燃料電池とは超小型の発電機なんだ・・・一生命理解しようとしているメンバー】

現存する試作車の開発コストは1台1億から3億以上。手作りでもありプラチナを沢山使っている為に非常にお高くなっていて、今後より少ない量で効果をアップして、技術と量産効果で電気自動車並みにしてゆこうというのが宮岡氏の生産技術系技術開発の課題はここにあります。現在では日産はフォードとダイムラーと共同開発を始めていて、水素の材料調達と供給ステーション設置の話、水素の安全性の話に続いてこれからの車を考える上でFCVは欠かせない技術として研究開発を進めてゆくという決意を話されました。市販車は2017年頃を目指して開発されているとのことでした。最後に、会長からお礼と記念品が宮岡さんに贈呈されました。

質疑応答につづいてテスティングタイム、ハッピーバースデーがおこなわれ、会長からの報告連絡事項では東京YMCAから伊豆大島台風災害「緊急支援募金」のお願いがクラブ宛で来ている件、11月23日の第二例会の確認、12月1日(土)山手センター会員クリスマス会の件、12月7日～8日の山中クリスマスの出欠とビンゴ景品の件と富士五湖クラブ合同クリスマス例会の件、12月14日松本クラブ25周年とアジア賞の件、12月23日のお散歩例会&忘年会が行われた。YMCA報告では岡田担当主事から、山中湖90周年チャリティーコンサート開催の件と、山手センターバザーでは58万円の収益があった件、12月1日の山手センタークリスマス会でおいなりさんを100個サンライズから提供する件、大島災害に15,000円とフィリピン災害義援金の件、山中湖センター90周年記念会とソシアスフォーラムの件の報告がありました。本日はゆったりと時間があったためにここに1分間スピーチでは沢山話していただきました。会長の閉会点鐘の後、恒例伊丹亭での本音で語ろう会はこじんまりと固まって12時頃まで行われました。

出席者：江原、大谷、岡田、小山(憲)、小山(久)、菰刈、柴田、菅原、御園生、宮岡さん(卓話者/江原友人)、染谷さん(江原妹)

11月例会のワイン 担当 菰刈さん

・MONTES ALPHA (CHILE)

現在チリで、モンテスはおそらく良質なワインを最も広範囲に提供しています。

・Aulente (ITALY)

輝きのあるガーネット色。ほのかにバラとブラックチェリーの香りがあり、レッドペッパーや赤いキャンディのニュアンスもある。やさしく柔らかな口当たりで、豊かな果実味とまろやかなタンニン、心地よい酸のバランスがとれたエレガントな赤ワインです。

11月例会のチーズ 担当 柴田さん

・クレマベルパエーゼ (イタリア)

・ベビーチーズプレー (イオンマーケット(株))

11月例会のパン

担当 柴田さん

・ダロワイヨ パケット

・くる実入りノア

11月第二例会

柴田弘子

11月23日(土)グラディスに於いて16時～18時
話し合われた議題

1. ブリテン原稿の役割分担
2. 12月7日(土)山中湖センター「地域の子供たちのためのクリスマス会」ページェントの打ち合わせと準備について。
3. クリスマス会の後、富士五湖クラブとの合同例会について
17時より開催。卓話は甲府21クラブの葉袋さんの「防疫について」
4. 松本クラブ25周年、アジア賞授賞式出席者の確認
5. サンライズ忘年会(第二例会)12月23日(月・祝日)

お散歩例会後、グラディスにて。詳細は後日連絡する。

例会終了後一品持ち寄りの食事をしながら、歓談の時間を過ごしました。当日はグラディスが休業の日でしたが、場所を提供していただき例会をすることが出来ました。

出席者：小山会長、菰渕、柴田、長津、絹子メネット、御園生

東広島クラブ訪問

大谷博愛

毎年、サンライズは東広島市で行われる酒祭りに合わせて東広島クラブを訪問し、合同懇親会を持っております。今年は10月12日に行われました。サンライズの参加者は小山会長、菰渕直前会長、長津さん、大谷のメンバー4名プラス長津さんの友人1名でした。

当日正午に西条駅に集合し、最初に東広島クラブの谷本さんのご案内で酒類総合研究所の展示場に行きました。そこでお酒についての学術的なお話を伺いながら、試飲を楽しみました。試飲といってもワインのようにフルーティーなものから大吟醸そして野趣あふれるものまで沢山の種類があり、それぞれ大きめの盃で飲んでいるとすでにほろ酔い状態。ありがたいことに、酒祭りは白昼堂々酔って歩いても許される雰囲気です。

そこから祭りの雰囲気を味わいながらほろ酔いでお馴染みの賀茂輝酒造までぶらり旅をしました。酒祭りでは、各酒蔵では出店を出したり、イベントを催したりして、一般客に開放しています。われわれは賀茂輝でお酒中心の食事をしながらラテン音楽やマジックなどのイベントを楽しみました。そこで出会った他のグループとも意気投合し、日が沈むまで語り合いが続きました。



【賀茂輝の庭でジャズを聴きながら】

東広島クラブとの合同懇親会は夕方6時から割烹料理屋で行われました。東広島クラブ会長の佐々木さんのご挨拶からはじまり、お互いに再会を喜び親しい交わりのひとときを過ごしました。会長のご主人でメンバーの佐々木さんがご高齢にも拘らず

この交わりに加わっていただいて、こじんまりした集まりではありましたが、意義深いものになりました。末永くこの関係が続くように、来年はもっと多くのメンバーが参加されることが望まれます。

DBCトライアングル例会

小山久恵

11月9日朝、東京駅を出発し京都へ。紅葉の美しい京都の秋を期待したのですが、残念ながら時期尚早で、所々チラホラ色づく程度でした。京都プリンスの岡西夫妻が車で大原方面を案内して下さり、皆で寂光院に立ち寄りしました。早目に例会会場のグランドプリンスホテルに到着し、そこで数杯グラスを空け、京都プリンス、東広島、東京サンライズのDBCトライアングル例会に臨みました。

19時に京都プリンス三村会長の開会点鐘で始まり、全員でワイズソングを斉唱し、ゲスト・ビジター紹介、三村会長の挨拶、報告の後、和食のお食事となりました。

お食事の後は絵手紙作製がこの日のプログラムでした。小学校の図画工作の時間さながら、一人一人が葉書にピーマン(この日の画題)を描き色づけしました。はみ出るほど大きく描き、トントンと彩色するのがコツだそうです。手作業をすると座が和みます。楽しい時間でした。ハッピーバースデー、ハッピーアニバーサリー、ニコニコ、YMCAの歌で閉会点鐘となりました。

例会からそのまま同じ場所で二次会となり、ここからはアルコール解禁で、各クラブのメンバーが一言話し、お互い同士親睦を深めました。京都プリンスのメンバーは、DBC締結時の人達が半分くらいで、年配の新しいメンバーに加えて30代、40代のメンバーも増え、活気づいていました。東広島の谷本さんの手品で盛り上がり、至る所で話の輪ができ、10時過ぎまで宴は続きました。

この日は西村さんに八瀬のエキシブを取って頂き、優雅な一夜を過ごしました。

翌朝リッチな朝食を頂いて、東本願寺へと向かいました。途中、任天堂創業時の建物を見て五条から七条を小雨の中ブラブラ歩いて行きました。東本願寺は修復の最中で、私達は特別に屋根の修理をしている場所を見学させていただきました。普通は入れない裏方を見ることができて良かったです。私は抜けましたが、その後昼食をとってお別れとなったようです。

二日間おもてなしをしてくださったプリンスの皆様、お近づきになれば、京都の街を見ることができてとても有意義な会でした。お世話になりました。

サンライズの出席者：小山(憲)、小山(久)、菰渕、柴田、長津、御園生、板屋さん(柴田・妹)

山中湖センター90周年 施設整備募金チャリティーコンサート

菰渕光彦

2013年11月8日(金)19時から行われたチャリティーコンサートに出席してきました。久しぶりの赤坂(溜池山王)に早く着きすぎて夕方から喫茶店をうろついて、アークヒルズを覗いて、それでも18時頃には壺南坂教会に到着してしまいました。20枚お預かりしたチケットを受付で精算して、開演を待ちました。

飯 靖子さんのオルガンと飯 顕さんのヴィオラ演奏によるバッハのアリアから始まり、その後バッハのソロ演奏3曲が奏でられて、休憩を挟みデュエット3曲が演奏され、当日集まった220名のオーディエンスを魅了いたしました。このコンサートの益金は全て、山中湖センターの施設整備のための募金として、キャンプをこよなく愛されて天に召された飯 忍さんの遺志を継いで、ご家族により東京YMCAに寄付されました。最後に顕さんがアンコールに応じてギターを抱えて、飯 忍さんが愛唱されたキャンプソング2曲を歌い上げて、山中キャンプ場の歴史を紐解かれました。

山中湖センター90周年記念感謝会

御園生好子

11月16日(土)「山中湖センター90周年記念感謝会」が東京YMCA山中湖センターで行われました。

東京YMCA会員協議会「ソシアスフォーラム」の中での「山中湖センター90周年記念感謝会」と言うこともあって、山中湖センターをこよなく愛している方々もいらっしゃいましたが、出席者の多くは何時も山中湖センターでお会いするような方々ではなく、肩書きの立派な方が多いようにお見受けしました。サンライズクラブからブルトップを集めて戴いた車椅子の贈呈とサンライズクラブ25周年の記念事業の1つとして山中湖センターへ25万円寄付するという大役を担って小山久恵さん、菰渕さんと出席しました。

第一部記念礼拝で車椅子と寄付金の贈呈式が有りました。その後、改修した施設見学等をして第二部記念講演。斎藤 實氏の「山中90年 ユースを育んだ物語」、高橋 伸氏の「ユースを育てるYMCA」が有りました。

90周年記念夕食会では長年のサンライズクラブのワーク等に対し感謝状を戴きました。

翌日は山中湖満喫オプション等が有りましたが、私達は夕食会后帰路につきました。



【東京YMCAから感謝状を頂きました。】

2014 在京ワイズ合同新年会

交流委員会

2014年1月11日(土)12時より、東京YMCA東陽町センターにて在京ワイズ合同新年会が開催されます。登録費は5,000円です。1月のサンライズ第一例会は合流しての開催となります。Jazz演奏もあります。在京クラブとの交流も楽しんでください。

強調月間：EMC-MC

会員増強委員会

MCとは、Membership & Conservation つまり、会員増強と維持啓発のことを指します。会員増強はワイズの永遠の課題であり、クラブを維持するも発展させるも、一に会員増強にかかっています。新入会員を誘うには、自分のクラブライフが楽しくなければ誘えません。常に会員意識の高揚と啓発に努め、充実した楽しいクラブライフと奉仕活動を心がけねばなりません。一人でも多くの新入会員を獲得するために。知人・友人同伴キャンペーン

東日本区会員増強委員会は、本年度も昨年に引続き新入会員獲得のために「知人・友人同伴キャンペーン」を推進し、東日本区大会でその成果を表彰することにしました。

2013年5月1日～2014年4月30日のクラブ例会や行事等に知人・友人を誘い、出席してもらった場合「1ポイント」、4月までに入会があった場合「20ポイント」、他クラブへの紹介も同じポイントが与えられ、その合計ポイントで東日本区大会でのクラブ・個人の表彰があります。

サンライズは、2014年5月には設立25周年を迎えようとしています。ある意味で「数は力」ということは真実です。活動の幅が広がり、奉仕・事業活動にも余裕を持って取り組みます。ぜひ、メンバーを25人に増やしましょう。

東京サンライズ25周年記念旅行

25周年実行委員会

チャーター25周年記念台湾旅行

期 日：2014年5月29日(木)～6月1日(日)

または 5月30日(金)～6月2日(月)

会 場：中華民国台北市

参加費：未定

お客様を招いての記念例会も捨てがたいものですが、今回は身内の親睦を図るために、台北ユニオン30周年記念祝会参加を名目に台湾旅行を企画しました。日頃親しくお付き合い頂いている他クラブの方にもご参加いただき、親睦を深めたいと思います。楽しい旅行をご期待ください。既にご参加の意思表示をなされた皆さま、誠に申し訳ありませんが期日変更ですので、再度ご検討いただき、改めてのお申し込みをお願い致します。

幸いゴールデンウィークは外れましたが、東日本区大会の前週の週末になってしまいました。それでもぜひご参加くださるようお願い致します。

インビテーションキャンペーン

会員増強委員会

今年度も東日本区EMC事業委員会ではインビテーションキャンペーンを、2013年5月1日～2014年4月30日まで行っています。クラブの例会・行事等にお呼びしたら1ポイント、その方が4月までに入会されたら20ポイント。他クラブに紹介した場合も同じ。11月の結果とこれまでの累計です。

【2P】江原 / 2名(第一例会)【累計：7P】

【1P】柴田 / 1名(合同例会)【累計：1P】

小山【累計：4P】 菰渕【累計：4P】

島田【累計：4P】 長津【累計：1P】

【クラブ累計：20P】

ペルー旅行記

長津 徹

10月末からペルーに行ってきました。男4女2合計6名、現地6泊の「食べ歩き」ツアーです。成田から首都リマまで片道23時間半、往復とも50時間近く起き続けというスケジュールと標高3,400mのクスコ滞在で体力の無さを痛感した旅となりました。事前の準備富士五湖クラブの富士山例会で体力の確認と高地順応をかねて、吉田口の馬返しから五合目まで登りました。この時三合目あたりから空気の薄さを感じ「アレ？」と思ったのですが、マチュピチュ(2,400m)やクスコ(3,400m)では意識的に深呼吸していても頭のふらつきや食欲減退などが出てしまいました。後で判ったのですが、マチュピチュ観光のあと車でクスコへ移動中、3,752mのチンチェーロという所を通っていたのです。夜間雨中のドライブで具合が悪くなるのは当たり前でした。予備知識として今年日本語版が出たばかりのマークアダムス著「マチュピチュ探検記」を読みました。インカ帝国滅亡の歴史と1811年マチュピチュを世界に紹介したハイラム・ビンガムⅢのたどった道筋を100年後の1911年に探検した記録です。謎だらけの空中都市マチュピチュを現代的に解釈しています。

ガイド：現地ガイドは「白根 全」という写真家です。世界で2人だけのカーニバル評論家という怪しい人なのですが、原付でサハラ砂漠横断をしたり「グレートジャーニー」のコーディネーターしたりと経歴のすごい人でした。リマ空港の到着から出発するまでの全行程をフルアテンドで、ホテルではもちろんレストランのややこしいオーダーまで全部お任せで全く心配なく旅行することができました。現地の言語はスペイン語で、一応挨拶や数字くらいは覚えていきました。ホテルでは英語で何とかなりました。

食事：ペルーは太平洋岸でフンボルト海流に面した砂漠地帯、牧畜の盛んなアンデス高原、野菜や果物の豊富なアマゾン源流と多様な気候を持っています。海の幸を始め芋類・唐辛子・トマトなどの原産地で種類も多く、豊富な食材を使ったペルー料理は今や世界3大料理の次、4番目と言われています。そのペルー料理も良いのですが、欧風レストランでの西洋料理もすばらしかったです。アルパカはステーキで頂きました。

ペルーレール：ほとんどの移動はチャーターバスだったのですが、オリャンタイタンボからマチュピチュまでの約50Kmは道路がないため、ペルーレールでの1時間半ほどの列車の旅となりました。ウルバンバ川沿いの峡谷を30k/h以下のスピードでのろのろ進むディーゼルカーは、JRよりちょっと狭い914mmゲージです。ピスタドームのガラス天井越しに時々ぞくぞくアンデスの峰々はまだ真っ白です。

ココ：空港にはフリーのコカの葉サービスがあり、ホテルではココ茶が飲めます。クスコ空港でココの葉をひとつかみもらって、すこしばかり砕き歯と歯茎の間につめます。しばらくすると歯茎がしびれてくると同時に頭がすっきりしてきます。ココの葉から摂取できるコカインはごく少量なので中毒などの心配はないとのこと。高山病対策によいとのことでしたが、僕の場合効かなかったようです。

子供達：あちこちで会った子供達は赤ん坊や子ヤギを背負って牛を追っていたり、観光地では民族衣装を着てモデルをやっていたりと働き者ばかりでした。畜産が中心の高原地域では子供が家の手伝いができるよう2部制になっていて、午前と午後で手分けしているとのことでした。

2013年12月1日発行

東日本区理事 渡辺喜代美

メンバーの皆さまには、会長よりメール添付で配信します。尚、あずさ部部长通信、各事業主任通信、東日本大震災支援対策本部ニュース等、東日本区よりのお知らせも添付します。

ご近所のクラブでは

交流委員会

あずさ部では部内交流に力を入れております。隣のクラブをのぞいて見ることでワイズの輪が広がり、ワイズの和も深まります。ぜひ他クラブ訪問を実行してみてください。

- ◆12月 1日(日)18:00～ 山手YMCA会員クリスマス
- ◇12月 1日(日)18:00～ 東京たんぼぼクラブ
- ◇12月 1日(日)18:00～ 東京セントラルクラブ
- ◇12月 3日(火)19:00～ 甲府21クラブ
- ◇12月 3日(火)19:00～ 富士五湖クラブ
- ◇12月10日(火)18:45～ 甲府クラブ
- ◇12月11日(水)19:00～ 東京武蔵野多摩クラブ
- ◆12月14日(土)13:00～ 松本クラブ25周年記念例会
第15回アジア賞授賞式
- ◇12月14日(土)18:00～ 東京八王子クラブ
- ◇12月17日(火)18:30～ 東京山手クラブ
- ◇12月18日(水)19:00～ 長野クラブ
- ◇12月19日(木)18:45～ 東京西クラブ
- *12月は各クラブでクリスマス例会等、例会日が変更になることが多々あります。確認の上ご出席ください。
- ◇ 1月10日(金)～11日(土) 富士五湖クラブ新年例会
- ◆ 1月11日(土)13:00～ 在京ワイズ合同新年会
東京YMCA東陽町センター
- ◇ 1月11日(土)13:00～ 在京ワイズ合同新年会に合流
東京山手クラブ
東京武蔵野多摩クラブ
東京たんぼぼクラブ
東京セントラルクラブ
- ◇ 1月11日(土)18:30～ 松本クラブ
- ◇ 1月14日(火)18:45～ 甲府クラブ・甲府21クラブ合同
新年例会/甲府 談路館
- ◇ 1月15日(水)19:00～ 長野クラブ
- ◇ 1月16日(木)18:45～ 東京西クラブ

お散歩例会&忘年会

お散歩委員会

12月23日(祝・月)12時、東急池上線/旗の台駅改札口集合。旗の台商店街→荏原商店街→中延商店街→戸越銀座商店街→武蔵小山商店街と歳末の商店街を冷やかして歩き、ついでに買い食い、買い出しもしようと思います。とにかくすごい商店街です。美味しいものもたくさん、安いものも勿論。うう！ご期待。続いて夕方5時半より、池袋のグラディスで忘年会を行います。会費は5千円です。忘年会のみのご参加も大歓迎致します。新年の抱負を語り合いましょう。

東広島クラブ 佐々木信昭さん

11月17日三年越しのみかん狩りをしました。今年も雨になりそうでしたがかろうじてできました。消毒もしないので見た目は商品にはなりませんでしたが味は良かったです。

11月22日YMCAと六方学園のクリスマスリース作りをワイワイ言いながら直径70センチ位のを作り持って行きました。とても喜んでいただきました。これは10年位続いています。

11月23日のチャリティランにはなんと7秒差で2位になりました。(私は風邪で参加できませんでしたが・・・)大きなトロフィー・賞状・ワイン・かぼちゃなどもらって帰りました。

12月8日には市民クリスマスを開催します。年末まで忙しいことです。

今月の京都プリンスクラブ Vol. 43

京都プリンスクラブ 岡西博司さん

今月はいろいろありましたね。

でも、やっぱり一番は、お互いのクラブの合同例会でしたね。

あくる日の京都散策もよかったですね。

YMCA学園祭・ワイズデー・リトセンオータムフェスタ・・・

12月になると、次期会長を決めます。さて、だれに白羽の矢が・・・

みなさんの推測は誰でしょうか？

山中湖センターだより

山中湖センター 小俣雅稔さん

皆様こんにちは。

山中湖は、紅葉も終わり寒さも一層増してきております。いよいよ本格的な冬を迎えようとしております。

先日、山中湖センター90周年記念募金感謝会が行われました。皆様からの尊い募金や、ワーク、日頃からの皆様のご厚情に深謝いたします。本当にありがとうございます。よき100周年を迎えるよう、日々邁進して行きます。

最近の山中湖センターは、いつの間にかオフシーズンならではのもの寂しいセンター内になりました。白銀の世界が広がる日も近くなって来ております。

12月の師走に入りますが、皆様も体調にお気をつけてお過ごしください。

編集後記

ブリテンの発行が大変遅くなってしまいお詫び致します。7日の山中クリスマスに間に合わせる予定で編集していたのですが、延び延びに。遅ればせながら、何とか発行する事ができました。

11月24日(日)熱海クラブ50周年記念例会に出席しました。さすがに伝統あるクラブで、海外、東西日本区から230名の出席がありました。記念事業は、市内小中学校から募集した「ありがとう」作文コンテスト。1,026点の応募があり、その内の優秀作品を小冊子にして、各学校、市内に配布されたとのこと。表彰式では受賞者の朗読もありました。熱海はすごい！ (Non.O)

YMCA News

山手センター 岡田ナスカさん

1. 感謝

・山中湖センター90周年記念施設整備募金として、18,192,132円(12月2日現在)が寄せられている。

2. 11月8日に、山中湖センター90周年施設整備募金活動の一環として、チャリティーコンサートが日本基督教団霊南坂教会で開催された。飯靖子氏(本法人理事)とご子息の飯 顕氏がオルガンとピアノの演奏により全面的にご協力下さった。チケット280枚の売上を含めた益金約93万円は山中湖センター施設整備のために用いられる。

3. YMCA/YWCA合同祈祷会が11月14日に東京YWCAを会場に開催された。『神の求める「変革」となる』というテーマのもとに山口里子氏(日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター)より「世界をどう変えたい？私は変わりたい？どうやって？」と題して奨励をいただいた。東京YMCAから27名が出席した。第2部では交流の場を持った。

4. 11月16日～17日、東京YMCA山中湖センター90周年記念感謝会と、会員協議会「ソシアスフォーラム」合同プログラムが山中湖センターで持たれ、約50人が参加した。感謝礼拝では、山中家族キャンプチャプレンの堀 光雄牧師(日本基督教団秦野教会)に説教をいただき、続く講演会では、「山中湖畔の90年 ユースを育んだ物語」と題して齊藤 實氏(YMCA史学会理事長)より、また「ユースを育てるYMCA」と題して高橋 伸氏(国際基督教大学講師)より講演をいただいた。分団では、会員部運営方針の1つである「ユースを育てるYMCA」をテーマに意見やアイデアを出し合って、互いに理解を深め使命を再確認した。

5. 10月16日未明に通過した台風26号により大きな被害を受けた伊豆大島支援のために、現地に職員を派遣し被災状況の調査を行い、募金活動を開始した。「東京災害ボランティアネットワーク」(共同代表:東京YMCA総主事・廣田光司)を通じて、加盟他団体とともにボランティアコーディネーター派遣等を行い、土砂に埋もれた家屋の清掃や子ども支援活動を行っている。

6. 11月8日、台風30号の直撃により甚大な被害を受けたフィリピン支援のための募金活動を開始した。寄せられた募金は、日本YMCA同盟、及びアジア・パシフィックYMCA同盟を通じて、被災地にあるセブYMCA(セブ島)やイロイロYMCA(パナイ島)で行っている、支援物資の配布や避難民の支援に用いる。

7. 国際協力部クリスマス礼拝、報告会、祝会が11月30日東陽町センターで開催された。約70名が参加した。この一年、国際プログラムに参加した青年により、熱意のこもった報告が行われ、ラテンバンドの出演や、にほんご学院の学生30名も出席し、歌を披露した。他にもキャンプソングを歌う企画などが行われた。

8. 今後の主な行事日程

クリスマスオープンハウス 12月23日(東陽町センター)